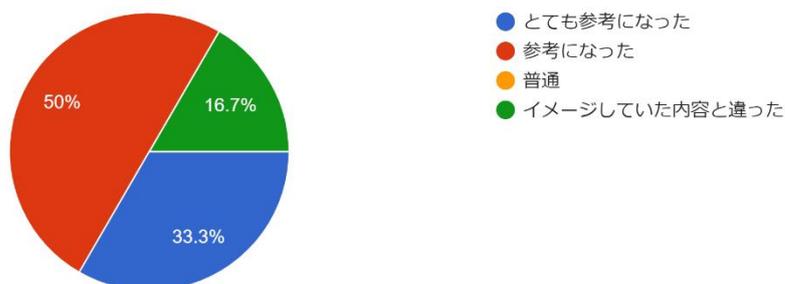


第20回日本視機能看護学会意見交換会参加後アンケートについて

今回のテーマについていかがでしたか。

6件の回答

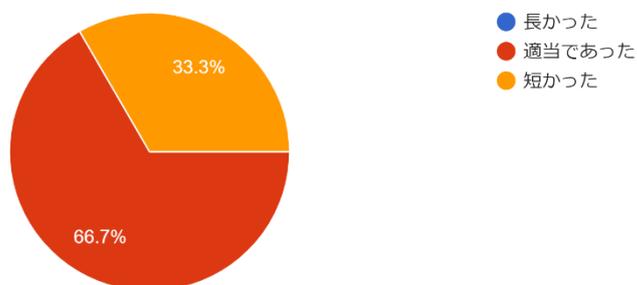


特に参考になった内容は何ですか。6件の回答

- 他施設様の教育方法について知ることができた。
- スタッフ教育
- 定着化してもらえるように、職場で差別化（給与など）されているところ。
- ラダーの導入をされている施設の現状
- 他施設の実情を知ることができ、とても有意義でした。同じ眼科といっても、背景が違くとそれぞれ何を重視するかも変わってきます。自施設と同じような環境のご施設と、さらに深いディスカッション、情報共有したくなりました。
- 評価制度の見直し

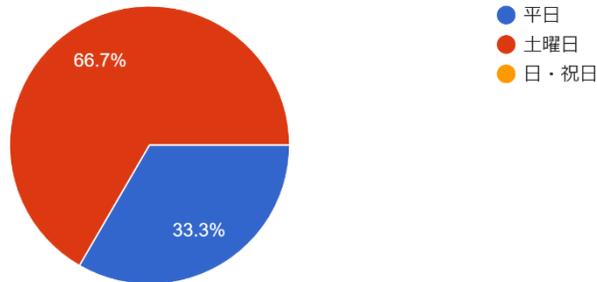
時間についてはいかがでしたか

6件の回答



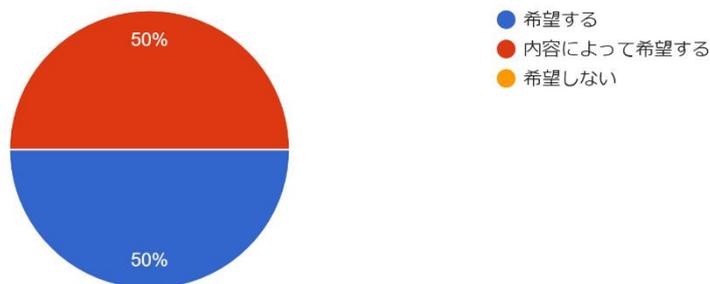
日程についての希望があれば教えてください

6件の回答



今後も意見交換会（セミナー含む）への参加を希望しますか。

6件の回答



今後行って欲しいセミナーや意見交換会のテーマなどがあれば教えてください。例）視機能看護の専門性を高めるための取り組み、ロービジョンケアについて、手術に対するICについて、地域連携について、認知症患者さんの指導など 4 件の回答

- 視覚障害者の地域包括的ケアについて
- 他施設での「患者相談、OP 説明などに関する取り組み」を伺いたい。
- 看護研究について、各ご施設ではどのように取り組んでいらっしゃるか、具体的な実情を教えてください参考になりたいと思っております。
- 手術効率化の工夫 クレーム対応

そのほか今回のスタッフ教育に関するテーマも含め、ご質問、ご意見などあれば以下にお願いいたします 4 件の回答

- 本日は、貴重な意見交換の場を設けていただきありがとうございました。自施設は、緑内障と甲状腺眼症の患者さんがほとんどで、同じ患者さんが入退院される特徴があります。バリエーションなく退院させることに加えて、長期的な看護を思い描ける専門性の高い看護師の育成が課題です。他施設様のお話を聞くと、自費診療に力を入れていて接遇を大切にされていたり、多くの入退院や手術を効率的な運営されていたりと所属施設の特徴によって眼科看護師のありようが変わるのだなと感じました。よりよくなりたい患者さんを対象にしているからこそ眼科看護の在り方に幅があるのでしょうか。施設側や患者さんが看護に何を求めているか、看護師一人一人が理解し、組織人として行動することが基本となることを再認識しました。
- 単科病院だと眼科に特化しているかもしれ無いのですが、眼科で働きながら他の領域（看護技術の習得）など学ぶ場をどのようにしているのか？
- ラダー導入されている施設の内容、教育方法、評価方法、給与との連動、などの情報をもう少しいただきたかった。毎回、有意義な内容の提供ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。
- 医師や他職種との連携、特に医師との連携に難渋しています。タスクシフトも含め、役割分担について明確化が当院では必要です。